

小川一成後援会ニュース

発行
小川一成後援会
〒302-01
茨城県北相馬郡守谷町
高野646-1
TEL&FAX 0297(48)1064

明るく親しみやすい 県政をめざして



一般質問のあと知事を囲んで後援会の皆様と

更にアーカス構

昨年十二月に新人で初当選させていただき、早一年になろうとしています。その間一年生議員として懸命の努力をしてまいりました。

私は、県民の皆様の声が県議会に届くよう、常に耳を傾けてきました。ところが、県政では、いま何を論議し、また、どんなことが実現されようとしているのか、さらに皆様からご支援をいただいた小川一成がどんな活動をしているのか、皆様には、わかりにくい状況にあると思います。

そこで、県政の活動をお伝えするとともに、人間・小川一成を少しでも知っていただくよう、「小川一成後援会ニュース」を発行することになりました。

紙面では、定例県議会の内容、

身の回りのニュースなどをお知らせして、親しんでいただけるよう、そして何より「皆様の声を取り入れる場」にしたいと考えておりますので、忌憚のないご意見・ご要望などをお聞かせいただけたら幸いです。

第一回定例会は、三月に開かれました。そこで私は幸運にも、初めての定例会で最初の一般質問をさせていただくという、人生において二度とない晴れの舞台を与えられました。

質問は全県的なものについて三件、取手・守谷地区に関するもの四件で、特に地域に密接な問題を取り上げ、知事はじめ関係部長に答弁を求めました。

詳細については、五月十日の新聞折り込みでお知らせしますが、

想の充実発展については、守谷町に招へいする芸術家を、二人から五人へと増員し、この事業と関連して、モンテール駐日米大使夫人が十二月七日、守谷町で講演することが決定しました。一層の充実を計りたいと思います。

更に去る、八月十日、フランスの核実験再開反対の要請書を仏大使に提出し、大使館内の三階にあるフリップ参事官の部屋で、一時間三十分にあたり激論を交わしました。

また、八月二十四日から九月三日まで、中央アジアのキルギス共和国で行われた「シルクロード国際騎馬マラソン（六十キロメートル）」に参加、多少なりとも国際交流の一端を担えたかと思えます。山や谷を越え、激流を走破してのレースだけに完走できたことに満足しています。

この一年間、ご支援をいただいた皆様方の期待に応えられるよう、全力を傾け、走ってまいりました。これからも皆様の声を大切に、県政に臨んでいきたいと思えます。

(小川)

第一回定例会では、小川議員は、自らの経験に基づく疑問をぶつけ、七項目にわたる質問をしました。そして、取手市への旅客窓口設置などの大きな成果をおさめることができて、実りある議会となりました。

二月二十八日から三月二十四日にかけて定例県議会が行われました。

この中で小川議員は、一般質問の二日目、三月八日に自由クラブの代表として新人議員のトップに立ち、登壇しました。

●県の地震対策について
まずはじめに、県の地震対策震災の被災地にボランティアとして参加。寝起きを共にし、汗を流してきた経験から迫力ある質問となりました。

●富山生守環境部長の答弁では「南関東直下型地震対象の県南西三十市町村では、都市部の避難場所を中心として貯水槽や備蓄倉庫の整備を促進し、広域避難場所の整備を進めたい」とのことでした。

●常磐新線関連開発の財政支援
常磐新線導入に伴う守谷駅周辺区画整理事業に対する財政支援について質問しました。現在、住宅の集団移転や、仮設住宅の建設など、多岐にわたる事業全



新人議員のトップをきって一般質問

てを、守谷町の単独事業で行い、行政の財政を圧迫していくことが予想されています。県の強力な支援が必要不可欠との判断からの質問です。

これに対して橋本知事から、「町の負担減に努め、今後も同事業や関連事業の取手を町と共に十分に精査し、県の支援措置を検討する」と、前向きな答弁を得ました。

●取手市に旅客窓口設置を
現行では、土浦市にパスポート申請所がありますが、気軽に行ける距離とは言えず、取手市、守谷町、利根町などの住民はたいへん不便な思いをしております。また、県南地域のパスポート申

- 請数は県南が一番多く、「取手市あたりでの申請はできないのか」と、多くの声が上がってきていました。
- 小川議員の質問は、こうした住民のニーズの声を反映したものです。県でもそれを認め、平成八年度から取手市役所へ旅客窓口の出張所を設置することを決定しました。これは、小川議員にとつて、県議会での最初の大きな成果と言えるでしょう。
- 後日、先輩議員からは、小川議員の一般質問について「新人が改選後の議会で登壇するのは、これまで例がなかった。一年生議員ながら、質問内容的を得ており、県政についてよく勉強しているとの印象を強く受けた」（茨城新聞3月25日付）との評価を受けました。
- 小川議員は、「今後も地域から出てきた要望や意見を大切に、積極的に県議会に働きかけていきたい」と、力強く語りました。
- 〈質問要旨〉
- ①地震対策について
 - ②常磐新線建設にかかわる守谷町への財政支援について
 - ③アーカス構想について
 - ④新しい農業担い手の確保・育成について
 - ⑤国道二九四号線の整備と常総ふれあい道路の格上げについて
 - ⑥取手市への旅客窓口設置について
 - ⑦新大利根有料道路の無料化について

シルクロード国際騎馬マラソン

～小川県議60kmを見事完走～



スタート直前の緊張(小川県議左端)

「馬に乗ってシルクロードを走ってみよう」と長年温めてきた夢を、この夏実現した小川県議。守谷町の乗馬クラブで時折練習しており、乗馬歴は十年以上です。

去る八月二十九日、中央アジアのキルギス共和国で行われた第一回国際騎馬マラソンに参加。最終二十区間目・六十キロメートルを見事完走しました。

もともとこの地方では、長距離走行に耐えられる「汗血馬」を育ててきた歴史があり、サラブレッドと違って「持久力」に優れているのが特徴です。

馬は現地で調達し、灼熱(しゃくねつ)の砂漠や高山地帯を走り、激流を走破しての完走だけに、小川県議の表情は満足感にあふれており、精悍さが一段と増しました。



キルギス人の家族と談笑する小川県議

小川議員は「シルクロード」——悠久の時間が流れてもなお変わらない風景。空の青さも頬にふ

平成7年第4回定例会会期日程(案)

月	日	曜	議事予定
12.	6	水	議事運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
	7	木	議案調査
	8	金	議案調査
	11	月	議案調査
	12	火	本会議(代表質問・質疑)
	13	水	本会議(代表質問・質疑)
	14	木	本会議(一般質問・質疑)
	15	金	本会議(一般質問・質疑) (議事常任委員会付託)
	18	月	常任委員会
	19	火	常任委員会
	20	水	本会議(予算関係議案常任委員長報告) (予算関係議案再付託)
	21	木	予算特別委員会
	22	金	予算以外の特別委員会
	25	月	本会議(委員長報告、採決、閉会)

マンあふれる地を馬で走る事ができたなんて夢のようです」と感想を話しました。



フランス大使館前で

大国の身勝手な核実験の再開に抗議すべく、八月十日、私たち県議会・自由クラブのメンバー四人が上京、フランス大使館に赴き、ジャック・シラク大統領宛ての核実験に対する抗議文を提出しました。

大使館では、フィリップ参事官と一時間半にわたって論議をいたしました。フィリップ参事官は「フランスは、過去百年間

に三回も隣国から侵略を受けてきた。しかし、核をもったことによって大戦後五十年間侵略を受けずに済んだ。核兵器の精度を高めるためにも必要だ」と主張しました。

私は「そんなことは大国のエゴであり、冷戦が崩壊した今、その主張は的外れである。それもフランス本土ではなく、遙か彼方の南太平洋で実験をすると

フランスが南太平洋ムルロア珊瑚での核実験再開に対して、小川議員を中心に、自由クラブのメンバー四人が、フランスのシラク大統領宛ての要請書を提出しました。小川議員は「文書に書ききれなかったこともあり、直接ぶつかって熱意を示したかった」と、熱い胸の内を語りました。

フランスの核実験に反対

大統領宛てに要請書提出

冷戦後の今日、なぜ核兵器が必要なのでしょう。フランス政府は核抑止力のために核実験は必要だと言いますが、時代錯誤もはなはだしいと言わざるを得ません。

さらに、実験を本国から遠く離れた他国で行うとは、核兵器の拡散・廃絶を願う、良識ある世界の人々に対する挑戦であると言えましょう。

私たちは「全ての核を廃絶すべき」であると考え、核実験の再開を断念するまで、フランス製品の不買や観光の中止など、国民的な反対運動を展開していく決意です。(小川)

茨城県議会チーム準優勝

小川議員は猛打賞を手に

県議会議員軟式野球全国大会

八月十八日～二十四日の四日間におわって、「都道府県議会議員軟式野球大会」が福島で開かれました。

小川議員は、一年生議員では唯一人先発メンバーで初出場。チームは決勝まで勝ち進み、群馬県チームと対戦しました。試合は延長戦まで持ち込まれ、六対六の引き分け。大会規定のジャンケンで敗れ、惜しくも準優勝となりました。

小川議員は、準々決勝、準決勝で本塁打を打ち、大活躍。その一本は「満塁さよならホームラン」という快挙。うれしい猛打賞を手にしました。



打撃フォームもサマになっている!